

週報

2023年度 教会標語

「礼拝に集おう！主に癒され、整えられて」

＜先週の説教から＞

『交換講壇—神からの招きにふさわしく』

木村太郎牧師（宇都宮教会牧師）

申命記 6：4-5 エフェソ手紙 3：20-4：6

パウロは、「神から招かれたのですから、その招きにふさわしく歩み。」（1節）と勧めます。ここに「ふさわしく」とあります。教会に結び合わされた者の歩みのふさわしさとは一体何でしょうか。

それは具体的には、礼拝や祈祷会、讃美歌、また、説教などについてどのように考え、どのように関わるかです。それは多くの場合、教会全体において一致していると思いますけれども、一方で異なる場合もあります。いずれにしても、実はここで使われている「ふさわしく歩み」の「ふさわしさ」とは、元々「てんびん」を指す言葉だったと言われています。つまり秤です。右と左にお皿があって、片方に重さを測りたいものに乗せます。そして片方に分銅を乗せて、釣り合ったところの分銅の量で片方の重さが分かるわけです。

パウロがここで考えているのは、そのてんびんなのです。教会に結び合わされた者としてのふさわしさについて、必ずしも同じではないことがあります。つまりそれは、自らが考えるふさわしさを自らで測ることはできないということを表しています。なぜなら、ふさわしさとは関係性において測られるからです。それはちょうどてんびんのようです。それは、右のお皿と左のお皿の関係性において重さを測ります。

こんなことを想像して良いかと思います。自らが考えるふさわしさをてんびんの右側のお皿に置いてみるのです。しかし、左のお皿に何も乗せなければ右側においた自らのふさわしさを測ることはできません。つまり、左のお皿に何かがあることにおいてのみ、自らのふさわしさを測定することができるのです。

パウロは、その何かを神からの「招き」と言います。教会に結び合わされたキリスト者として歩む歩みのふさわしさとは、神からの招きによってこそ分かるということです。

わたしたちは神によってこの教会に招かれているのです。

それは、「教会」という字には、元々「呼び集められた者たちの群れ」という意味があることから分かります。

そして、ここでさらに気づかされるのは、教会というのは個々人の集まりのようで、実はそうではないということです。神の招きによって、わたしたちはそのお一人の方の下に集められているのです。わたしたち一人ひとりが等しく神からの招きの下にあると信じる時、自らが相対化されます。自らをへりくだらせることができ、神の招きにふさわしい歩みへと導かれていくのです。（以上、木村先生より）

＊＜桐生教会での礼拝のご報告＞・1877年に教会が創立され、147年もの歴史を持つ教会で、特に会堂は昭和3年建立の見事な木造建築（県の文化財）です。ただ、現在の信徒数は17名、当日の礼拝出席は11名でした。交換講壇には信徒も同行した方がよいとのことで茨木長老も一緒に出ました。（武田）

【今週の集会】

＊聖書研究・祈祷会 I. 2月28日（水）20：00
II. 2月29日（木）10：30

聖書：ハイデルベルク信仰問答
祈祷主題：世界祈禱日3/1を覚えて
担当者：（水）岩井 （木）佐々木
祈りに覚える人：松田さん 丸茂さん

【教勢報告】

主日礼拝 男17 女51 計68
祈祷会 I. 男7 女2 計9 II. 男1 女10 計11
日曜学校 幼稚科6 小中科10 計16
ハンナの会2月20日（火）男2 女7 計9

【次週主日礼拝】 3月 3日（日）

聖書：詩編 4：3～6
ルカ 10：1～10
説教：「ルカ④—沈黙の意味」 武田 真治 牧師
讃美歌：307(1)、32、聖歌隊436、301(1～3)、441(1～4)、79(1～2)、91(1)

【次週当番表】

司式：坂田雅老 奏楽：村上 礼拝：保坂長老
配餐：羽倉 保坂 相浦 飯田 各長老
献金：岩井 岩井 受付：西尾 森本
会堂準備：浅井 阿部 齋藤 山田
看板：保坂 週報：岩佐 お花：森本

【次週集会予定】

礼拝前：・求道者会 ・聖書輪読会
礼拝後：・長老会 ・会堂管理委員会 ・お茶の会
：牧師と語る会 ・聖歌隊練習

2024年 2月 25日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>